

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築				
市町村名	佐久市	ふりがな 箇所名	いちかみおだぎりうすだていせん (一)上小田切白田(停)線	なかおだぎり 中小田切	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	28年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	道路築造工 L=500m W=6.0(12.0)m		150,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	測量設計 1式		10,000			9,000	1,000
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価区分		①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台以上～ <input type="checkbox"/> 4,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	5	0.3	14
		代替道路	<input type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input checked="" type="checkbox"/> 代替となる道路がある		0		
		ネットワーク (道路網)	<input checked="" type="checkbox"/> バス路線である	<input type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input type="checkbox"/> 左記に該当しない	15		
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		10		
			<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		0		
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	<input type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input checked="" type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)	5		
	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る		<input checked="" type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	10			
	小計					45		
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され確実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが確実性 が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	50	0.1	5
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、 振興山村、積雪地域、 過疎地域、地震防災 対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定 地域に位置付けられて いる	<input checked="" type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	0			
小計					50			
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	20	
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	40			
	コスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> 部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	35			
	小計							100
緊急性	安全性の向上	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	30	0.2	16	
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路	50			
	小計							80
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	16	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	25			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない	20			
	小計							80
費用対効果(B/C)		2.9	評価の合計				71	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	中部横断道開通、白田IC開設により予想される交通量増加に対応するため、未開両区間の改良が地区より強く要望されている。						
	地域からの要望経緯	毎年地区役員から要望があるが、ICアクセス優先を理由に未着手であったが、アクセス道路の交付金事業化に伴い、着手を強く要望されている。						
	事業説明等の経緯	地区要望へ前向きな検討を約束した。						
	環境・景観への配慮 項目	地形の改変量を極力少なくするよう現況重視の設計						
	他事業・プロジェクトと の関連	中部横断自動車道、広域農道						
	特記事項							
地域 の 合 意 形 成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	中部横断自動車道及び広域農道へのアクセス機能の向上により、地域産業の活性化に寄与する事業であるため、H26年度から事業化をしたい。			行政改革課 意見	緊急性が認められる。			